

産業労働常任委員会資料

令和6年6月18日

# 産業労働施策の総合的な推進について

産業労働部  
地域経済課

# 目次

## I 本県経済・雇用の状況

- 1. 経済の規模と地位…………… 03
- 2. 県経済の産業構成…………… 04
- 3. 中小企業の割合…………… 05
- 4. 人口減少の状況…………… 06

## II 最近の経済・雇用情勢

- 1. 経済・雇用情勢の推移…………… 08

## III 「ひょうご経済・雇用戦略（2023～2027年度）」の推進

- 1. 戦略の概要…………… 18
- 2. 9つの重点プロジェクトと施策展開… 20
- 3. 戦略の推進状況(R5年度 of 取組)… 27



# I 本県経済・雇用の状況

## 1. 経済の規模と地位

本県は主要経済指標において全国の4%程度のシェア、7位前後の位置を占めている。その中で製造品出荷額等は全国5位となっている。

### 【主要経済指標】

項目	実数（単位）	全国シェア	全国順位
人口（令和5年10月1日）	5,370（千人）	4.3%	7位
県内総生産（GDP）（令和3年度・名目）	22,506（10億円）	3.9%*	6位*
第1次産業（構成比0.4%）	89（"）		
第2次産業（構成比32.0%）	7,199（"）		
第3次産業（構成比66.3%）	14,926（"）		
県民所得（令和3年度）	16,280（"）	4.0%*	7位*
事業所数（令和3年・民営）	203,113（事業所）	3.9%	8位
従業者数（令和3年・民営）	2,221（千人）	3.8%	7位
製造品出荷額等（令和3年）	16,502（10億円）	5.0%	5位
商品販売額（令和3年）	15,415（"）	2.8%	8位

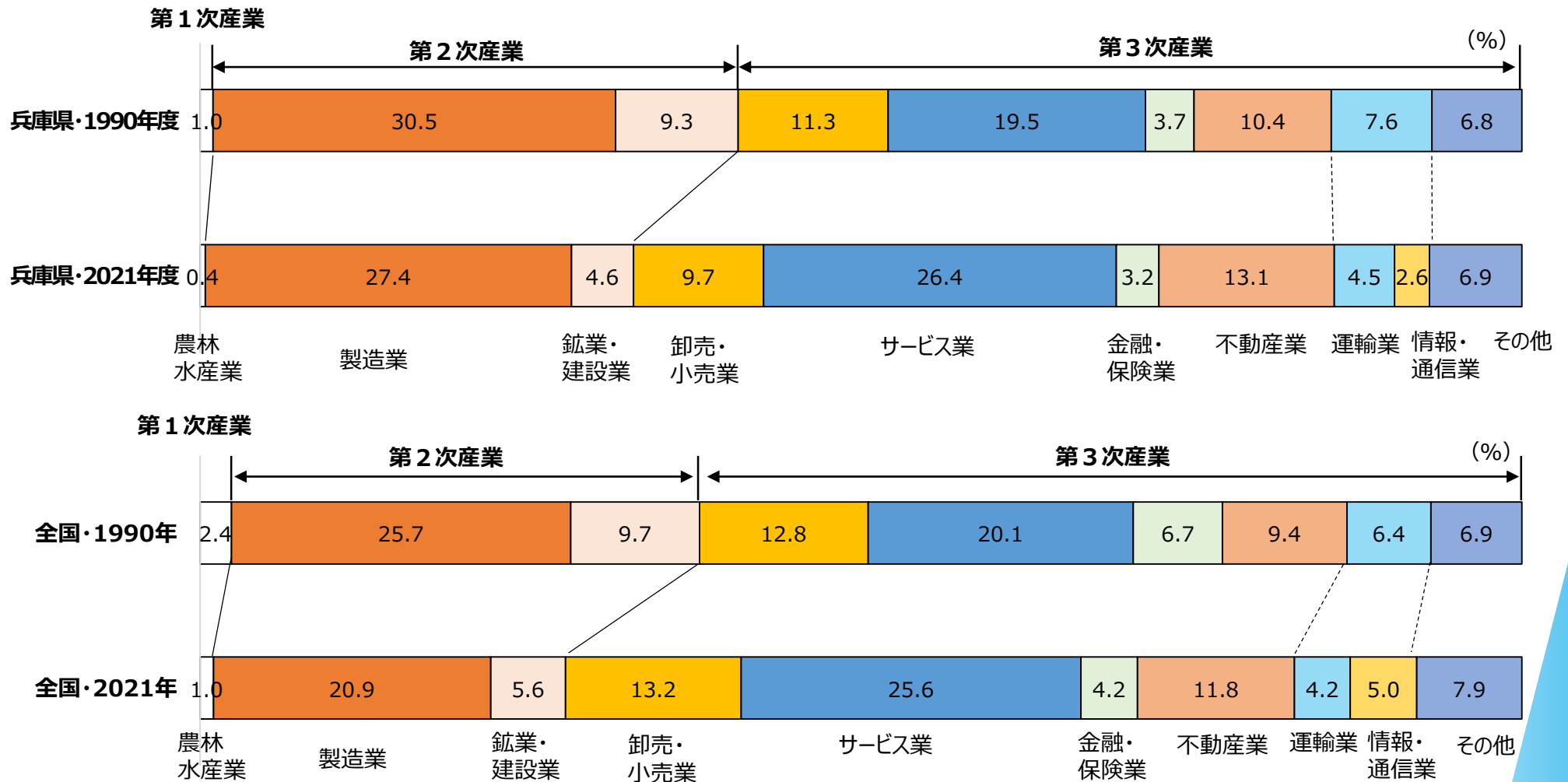
（資料：総務省「人口推計」、県統計課「県民経済計算」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」）

※県内総生産（GDP）、県民所得の全国シェア、順位は令和2年度の数値

## 2. 県経済の産業構成

全国的に経済のサービス化が進むとともに、県内総生産（GDP）に占める第3次産業の割合が高まっている。製造業は2021年度時点でも全国と比べて高い構成比となっている。

### 【総生産の産業別構成】



(資料：内閣府「国民経済計算」、県統計課「兵庫県民経済計算」)

### 3. 中小企業の割合

中小事業所は全事業所の98.8%、従業員の75.1%を占める。

#### 【中小事業所が経済に占めるウエイト（R3年）】

区分	事業所数(事業所)					従業員数(人)				
	総数 (a)	中小事業所		(b/a) (%)	bのシェア (%)	総数 (c)	中小事業所		(d/c) (%)	dのシェア (%)
		(b)	小規模事業所				(d)	小規模事業所		
全産業(民営、非農林漁業)	202,089	199,578	143,488	98.8	100.0	2,210,186	1,659,449	480,138	75.1	100.0
建設業	16,634	16,633	15,890	100.0	8.3	110,274	109,619	76,959	99.4	6.6
製造業	16,573	16,415	13,233	99.0	8.2	401,351	285,586	79,679	71.2	17.2
卸売、小売業	47,973	47,063	29,719	98.1	23.6	436,975	323,808	77,324	74.1	19.5
飲食店、宿泊業	23,444	23,116	16,647	98.6	11.6	172,041	142,891	44,039	83.1	8.6
生活関連サービス業、娯楽業	16,729	16,684	13,790	99.7	8.4	85,553	78,356	29,487	91.6	4.7
医療、福祉	20,248	19,788	7,979	97.7	9.9	352,550	237,588	25,720	67.4	14.3
その他	60,488	59,879	46,230	99.0	30.0	651,442	481,601	146,930	73.9	29.1

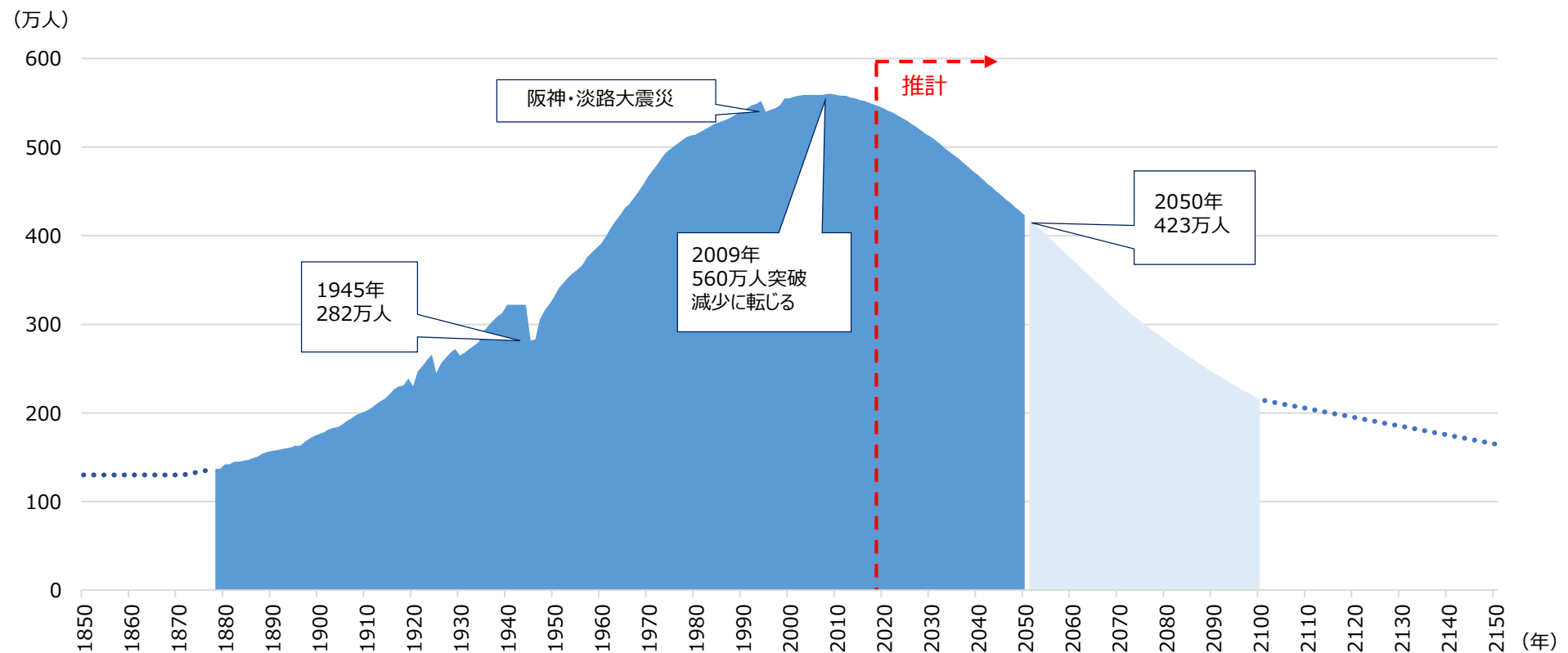
(資料：総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」)

※中小事業所：常用雇用者が、卸売業、サービス業は100人未満、小売業及び飲食店は50人未満、製造業その他は300人未満  
 小規模事業所：常用雇用者が、卸売業、小売業、サービス業は5人未満、製造業その他は20人未満

## 4. 人口減少の状況

人口は2009年を境に減少に転じ、本格的な人口減少社会に入っており、今後も減り続ける見通しである。

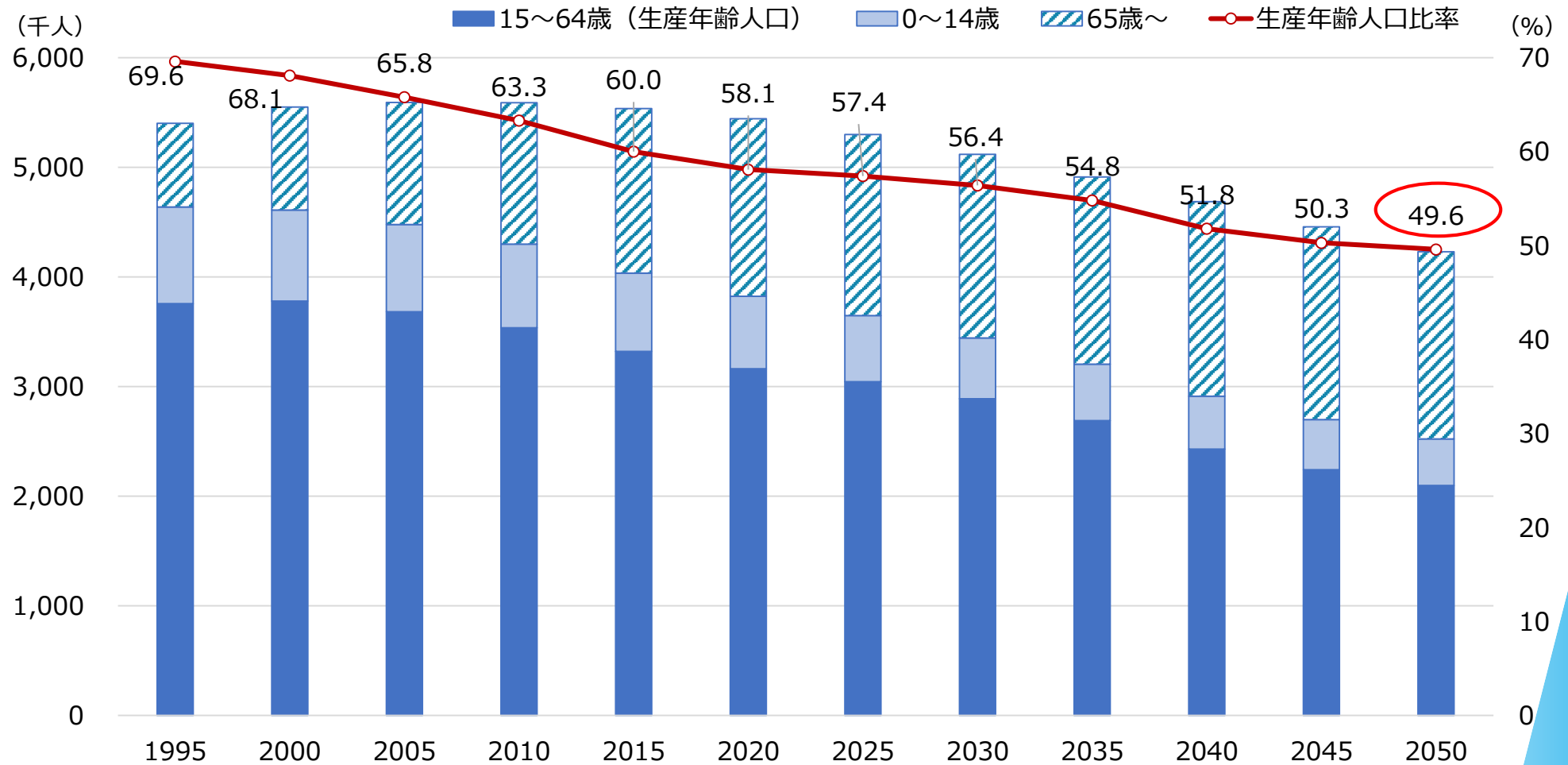
### 【総人口の推移】



(資料：総務省「国勢調査」、県計画課「兵庫県将来推計人口」(2015～2065))

生産年齢人口（15～64歳）も減少傾向となっている。現在の趨勢が続いた場合、2050年には生産年齢人口比率が49.6%まで減少する見通し。

### 【生産年齢人口の推移】



(資料：総務省「国勢調査」、県計画課「兵庫県将来推計人口」(2015～2065)を基に地域経済課作成)

## II 最近の経済・雇用情勢

### 1. 経済・雇用情勢の推移

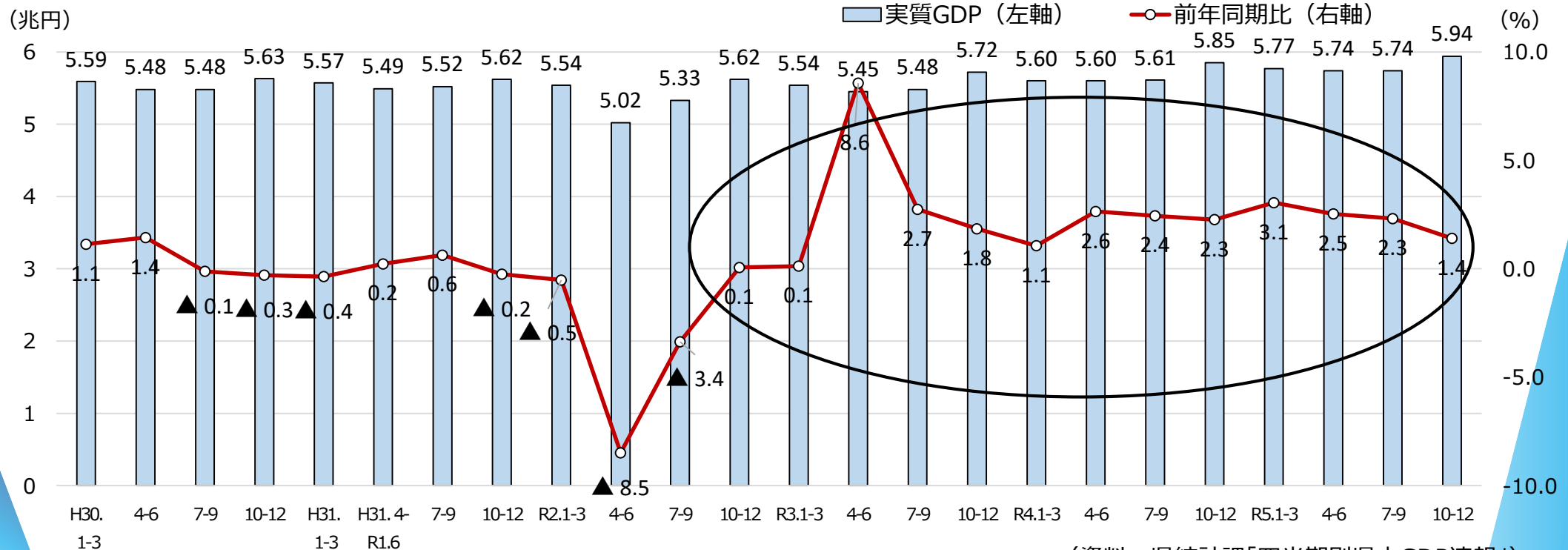
令和5年度の本県経済は、コロナが5類に移行し、経済活動が正常化する中で、前年に比べて総じて持ち直しの動きが続いた。倒産件数は、前年を上回った。

足もとでは企業収益や設備投資が堅調な一方で、輸出は増勢が鈍化している。また、先行きは円安の進行や中国経済の減速による生産、輸出の鈍化、原油・原材料価格の高騰による物価高などにより不透明感が強まっている。

#### (1) 県内総生産（GDP）

四半期別実質GDPは、令和2年10～12月期以降、前年同期比プラスで推移している。

##### 【実質GDP】



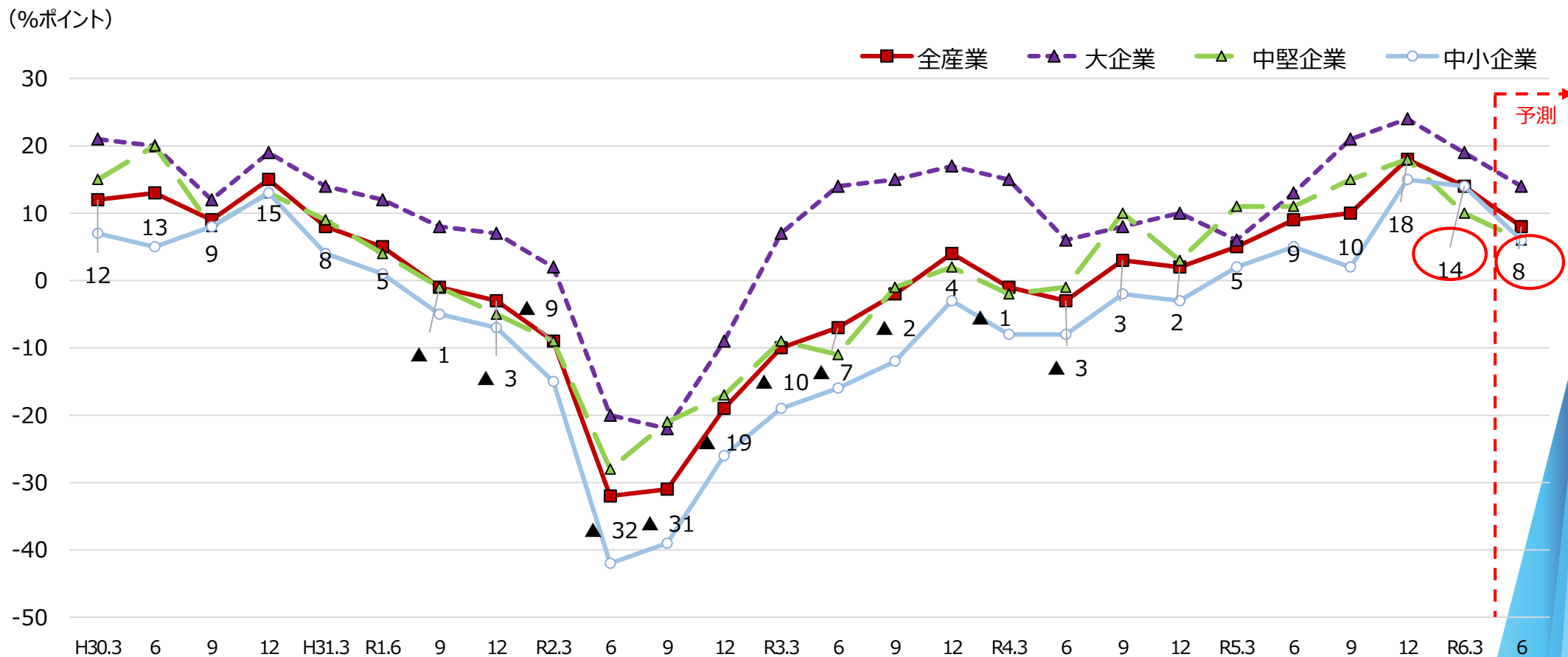
(資料：県統計課「四半期別県内GDP速報」)



## (2) 業況

企業の業況は、為替円安の影響等により、足もとでは悪化しているものの、コロナ禍以降のピーク圏内で推移している。先行きは慎重な見方となっている。

### 【業況判断DI（良い－悪いの推移）】



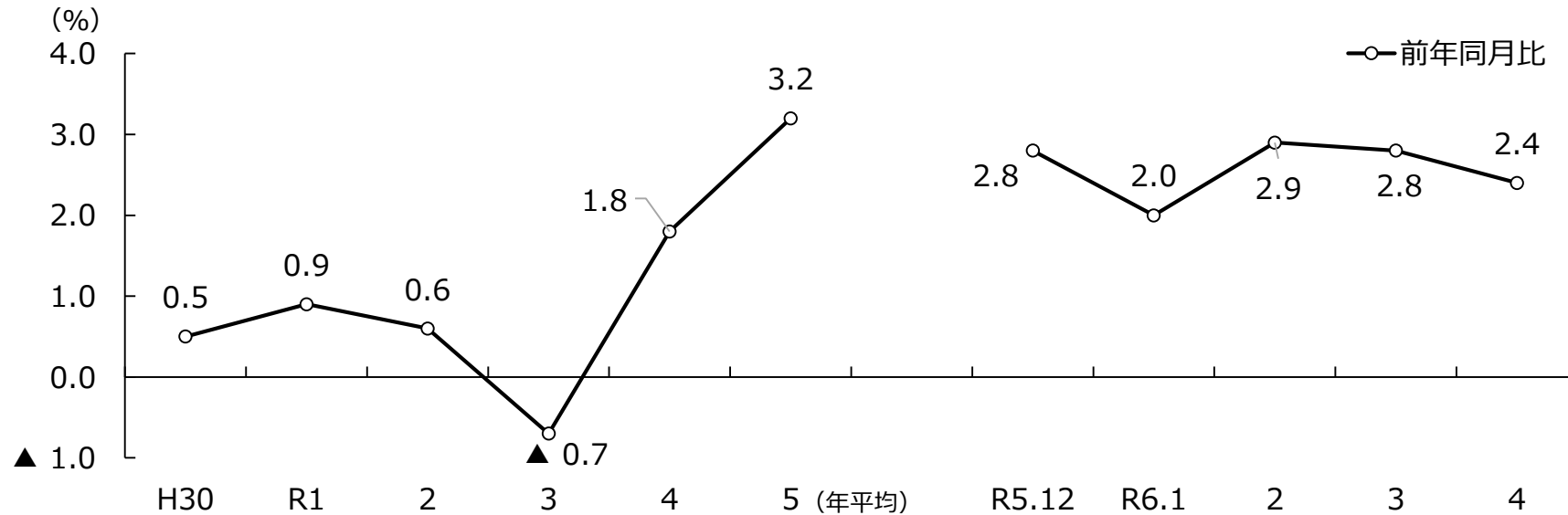
(資料：日本銀行神戸支店「県内企業短期経済観測調査」)

※DIとは、デフュージョン・インデックスの略。ここでは業況判断の方向を示す指標であり、具体的には、業況が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値

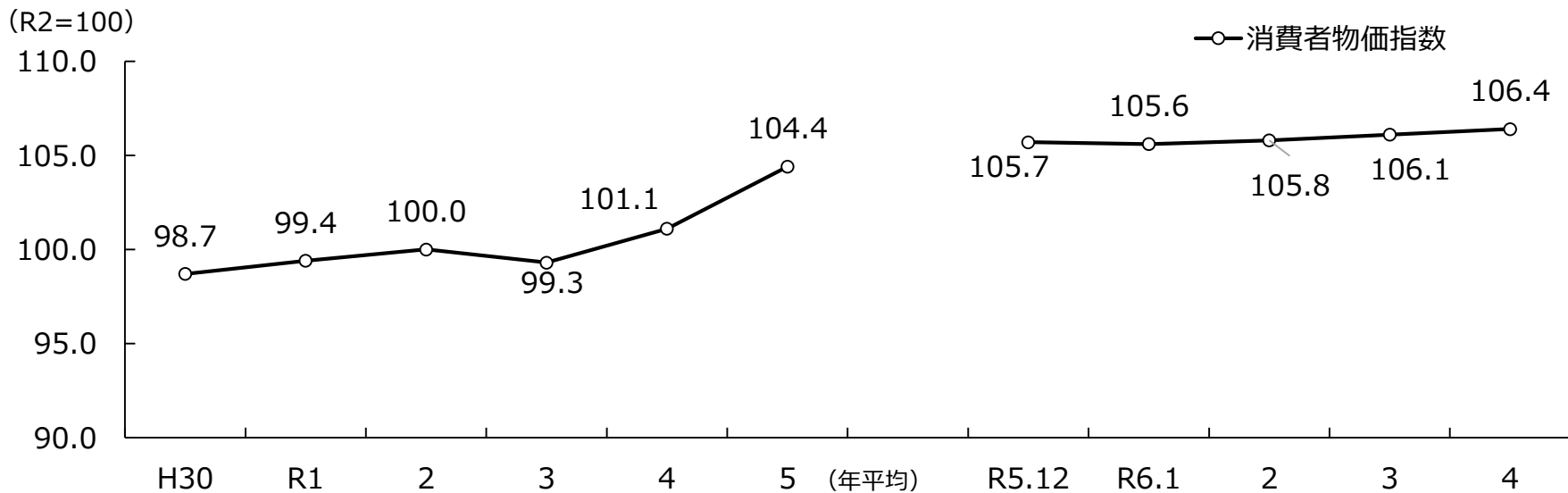
### (3) 消費者物価

消費者物価は令和4年以降上昇が続き、足もとでは高止まりしている。

#### 【消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）の増減率（神戸市）】



#### 【消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）（神戸市）】



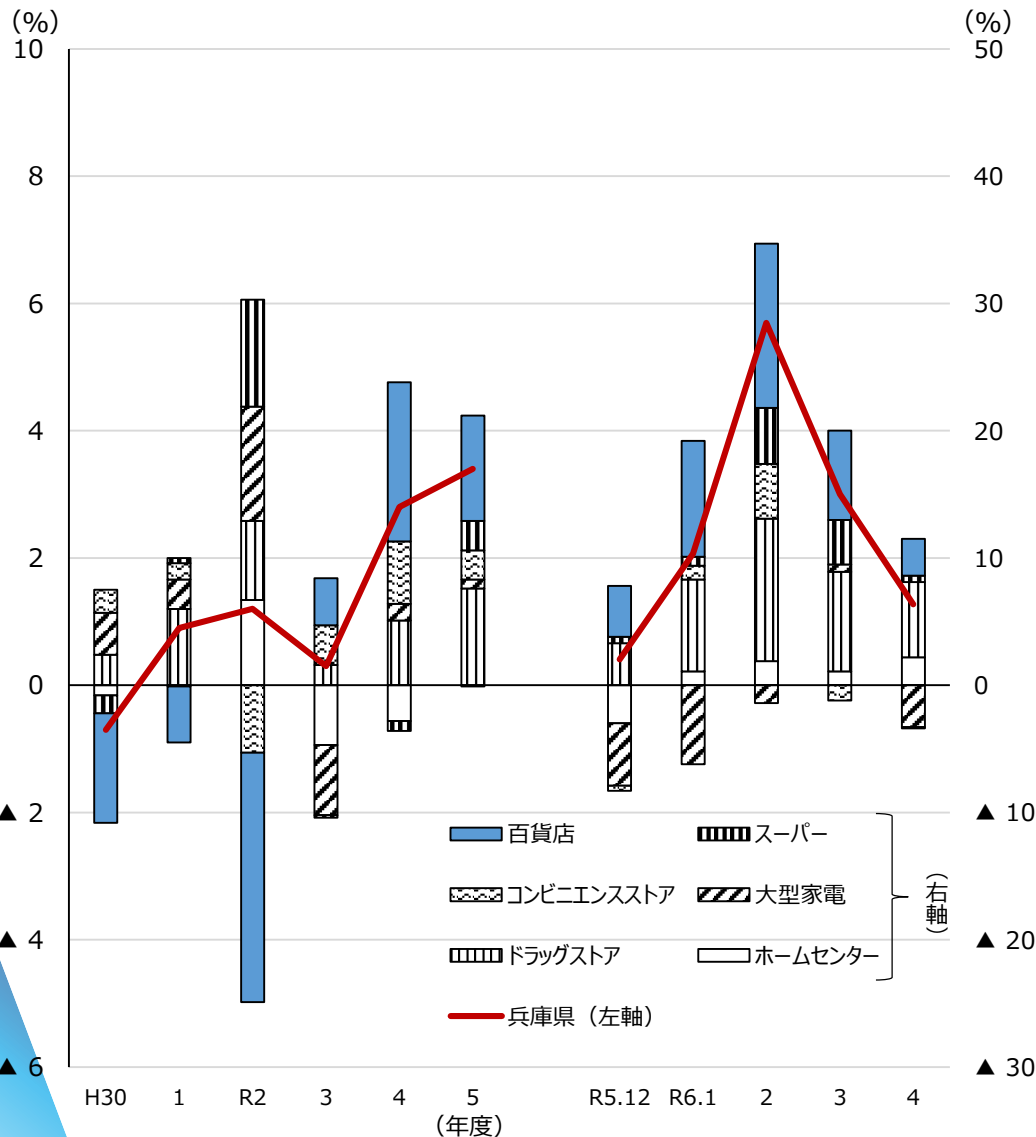
(資料：総務省「消費者物価指数」)

# (4) 需要

## ① 商業販売

令和5年度の商業販売は、全体として回復の動きが広がった。足もとでは、インバウンド需要回復の影響等により、百貨店をはじめ、緩やかに回復している。

【商業販売額 前年同期比】



		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
百貨店	販売額	2,377	2,273	1,828	1,895	2,131	2,308
	前年度比	▲ 8.6	▲ 4.4	▲ 19.6	3.7	12.5	8.3
スーパー	販売額	5,740	5,764	6,246	6,236	6,187	6,327
	前年度比	▲ 1.4	0.4	8.4	▲ 0.2	▲ 0.8	2.3
コンビニエンスストア	販売額	4,169	4,225	3,999	4,125	4,328	4,427
	前年度比	1.8	1.3	▲ 5.3	3.1	4.9	2.3
大型家電	販売額	1,689	1,729	1,885	1,782	1,806	1,820
	前年度比	3.3	2.4	9.0	▲ 5.5	1.3	0.7
ドラッグストア	販売額	2,312	2,452	2,604	2,647	2,782	2,994
	前年度比	2.4	6.1	6.2	1.6	5.1	7.6
ホームセンター	販売額	1,311	1,310	1,397	1,331	1,294	1,293
	前年度比	▲ 0.8	▲ 0.1	6.7	▲ 4.7	▲ 2.8	▲ 0.1
合計	販売額	17,599	17,753	17,960	18,016	18,529	19,168
	前年度比	▲ 0.7	0.9	1.2	0.3	2.8	3.4

		R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4
百貨店	販売額	280	191	177	208	175
	前年度比	4.0	9.1	12.9	7.0	2.9
スーパー	販売額	634	518	485	523	505
	前年度比	0.5	0.7	4.4	3.5	0.5
コンビニエンスストア	販売額	385	350	336	367	362
	前年度比	▲ 0.4	1.1	4.3	▲ 1.2	▲ 0.1
大型家電	販売額	183	145	131	178	126
	前年度比	▲ 4.9	▲ 6.2	▲ 1.4	0.6	▲ 3.3
ドラッグストア	販売額	276	241	236	260	250
	前年度比	3.3	7.2	11.2	7.8	5.9
ホームセンター	販売額	129	92	88	106	117
	前年度比	▲ 3.0	1.1	1.9	1.1	2.2
合計	販売額	1,887	1,537	1,453	1,641	1,536
	前年度比	0.4	2.1	5.7	3.0	1.3

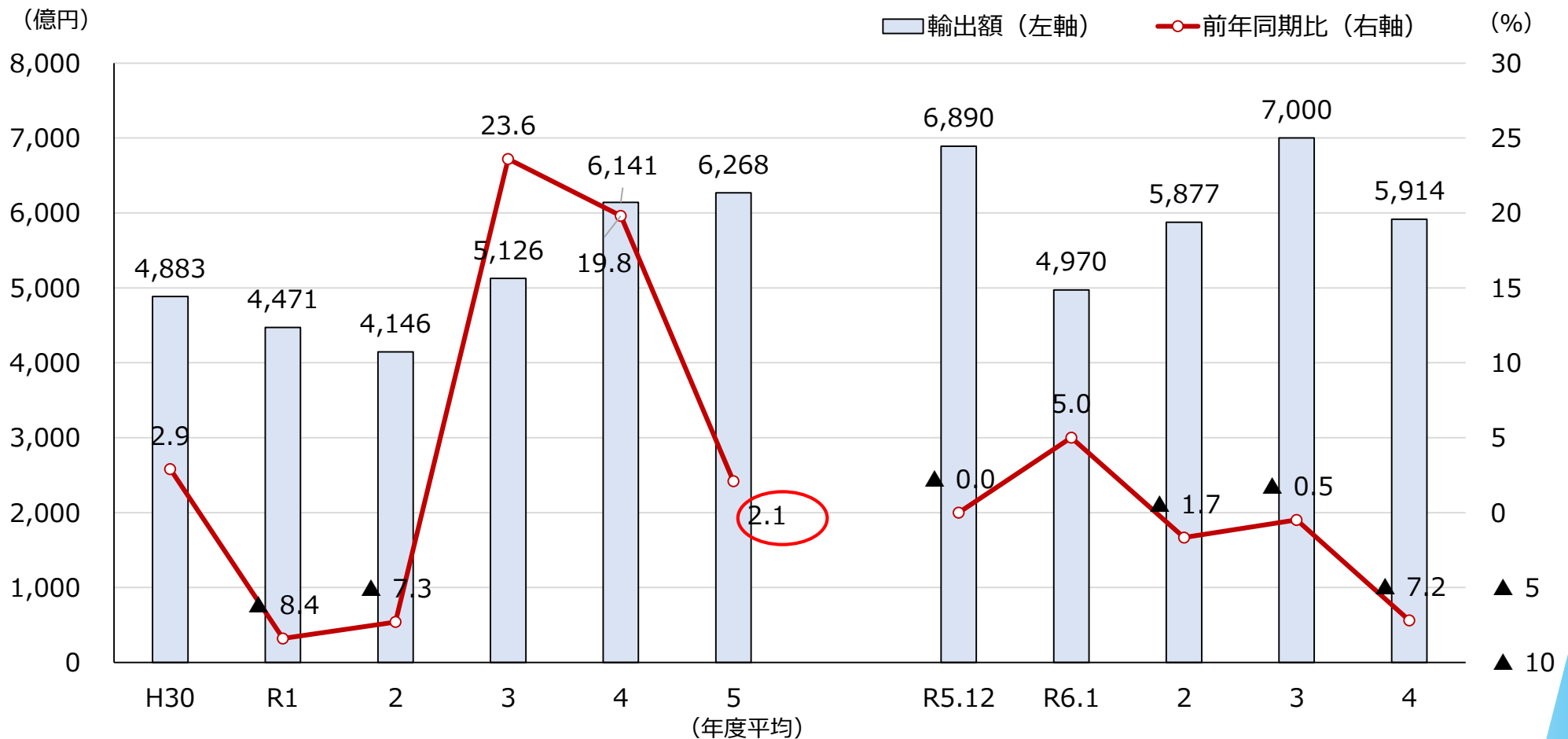
(資料：経済産業省「商業動態統計」)

## (4) 需要

### ② 輸出

神戸港の輸出は、令和5年度の輸出額が前年度比2.1%増となった。足もとではアジア向けの化学製品などが減少し、増勢が鈍化している。

#### 【神戸港輸出額】



(資料：神戸税関「神戸港貿易概況」)

## (4) 需要

### ③ 設備投資

令和6年度の設備投資計画は、前年度比14.9%増の計画がなされている。

#### 【設備投資額 前年度比 (R6年3月)】

(単位：%)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度見込	R6年度計画
全産業	0.8	▲ 1.2	2.4	▲ 13.4	8.3	▲ 0.4	14.9
製造業	1.0	0.6	▲ 3.0	▲ 20.2	15.8	▲ 0.3	18.6
非製造業	0.2	▲ 9.5	32.8	14.2	▲ 13.0	▲ 0.8	3.9

(資料：日本銀行神戸支店「県内企業短期経済観測調査」)

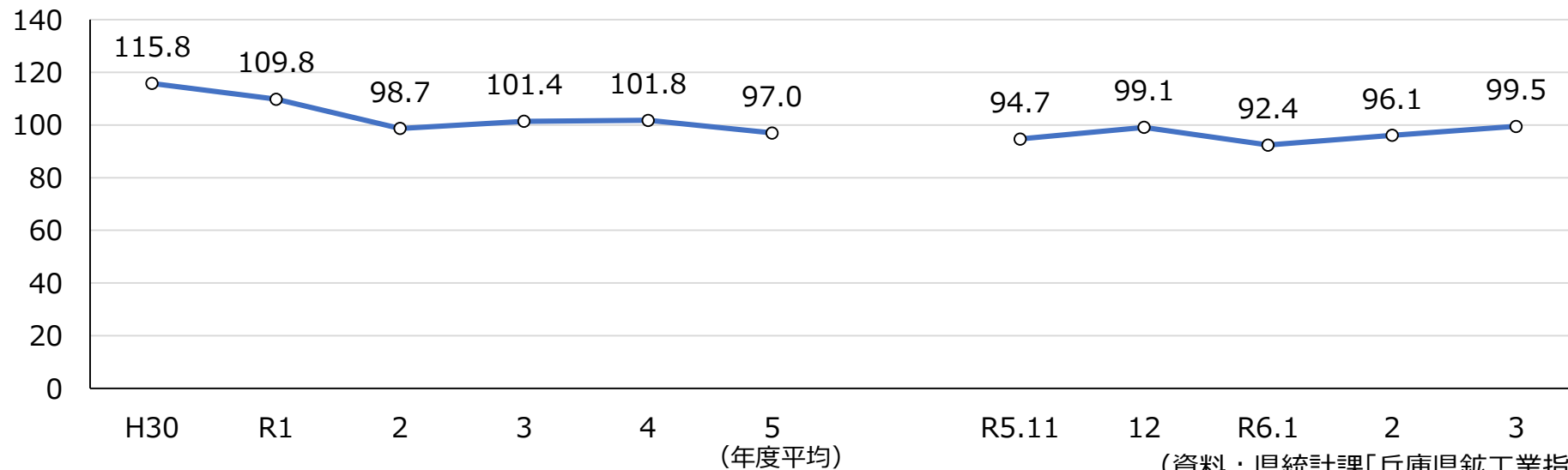
## (5) 企業活動

### ① 生産

令和5年度の鉱工業生産指数は、中国向けの建設機械需要の減少等の影響により、前年度比で減少した。足もとでは、持ち直しの動きが見られる。

#### 【鉱工業生産指数】

(R2=100 季節調整値)



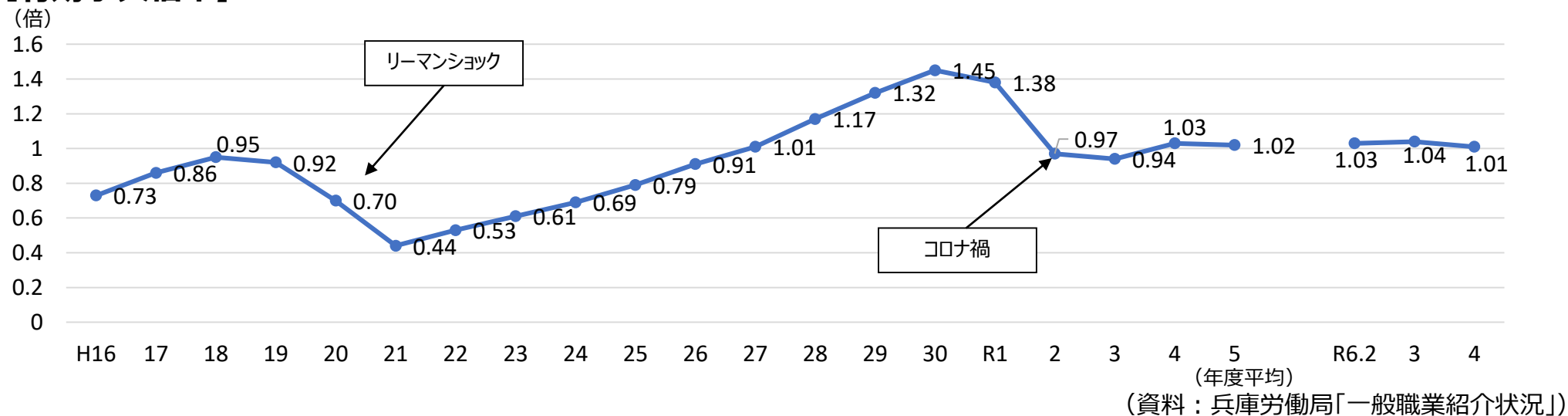
(資料：県統計課「兵庫県鉱工業指数」)

## (6) 雇用

### ① 有効求人倍率

コロナの影響緩和とともに、全体として求人が求職を上回って推移している。

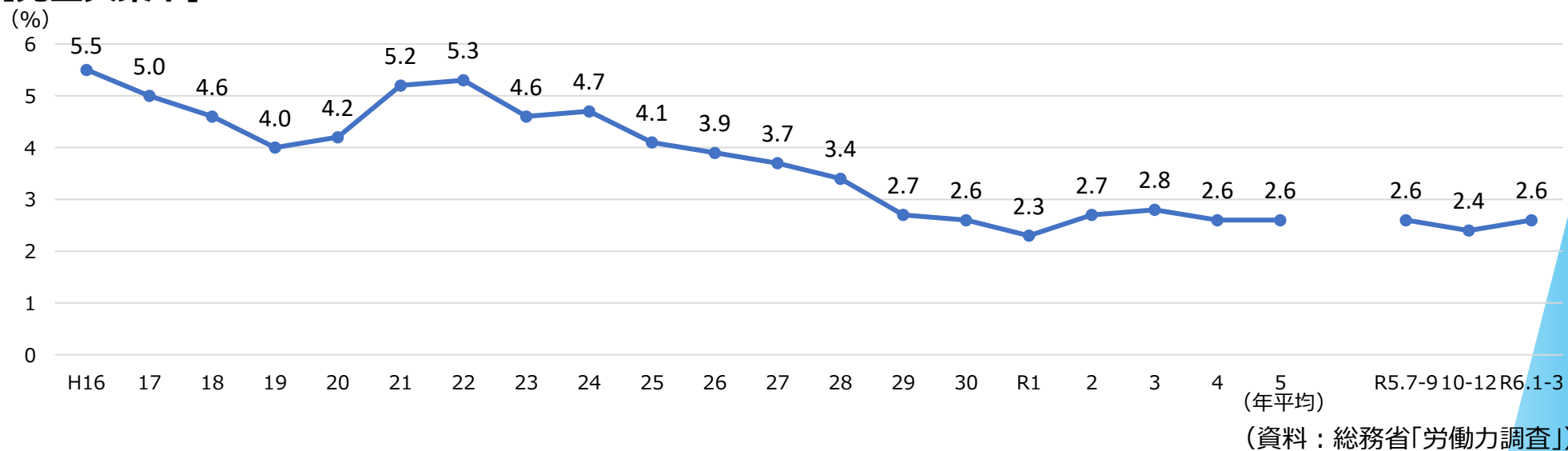
#### 【有効求人倍率】



### ② 完全失業率

完全失業率は、横ばい圏内で推移している。

#### 【完全失業率】

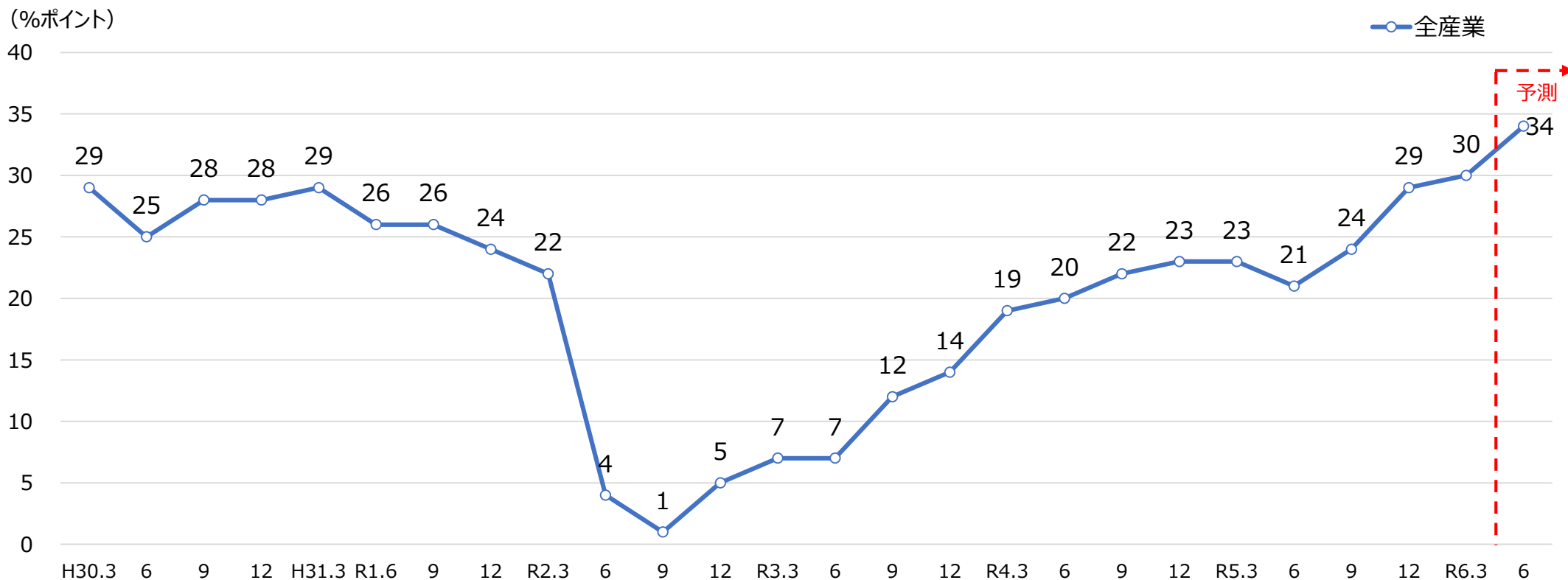


## (6) 雇用

### ③ 雇用人員判断DI

企業の雇用人員判断は高い水準で推移し、不足感が強まっている。

#### 【雇用人員判断DI（不足－過剰の推移）】



(資料：日本銀行神戸支店「県内企業短期経済観測調査」)

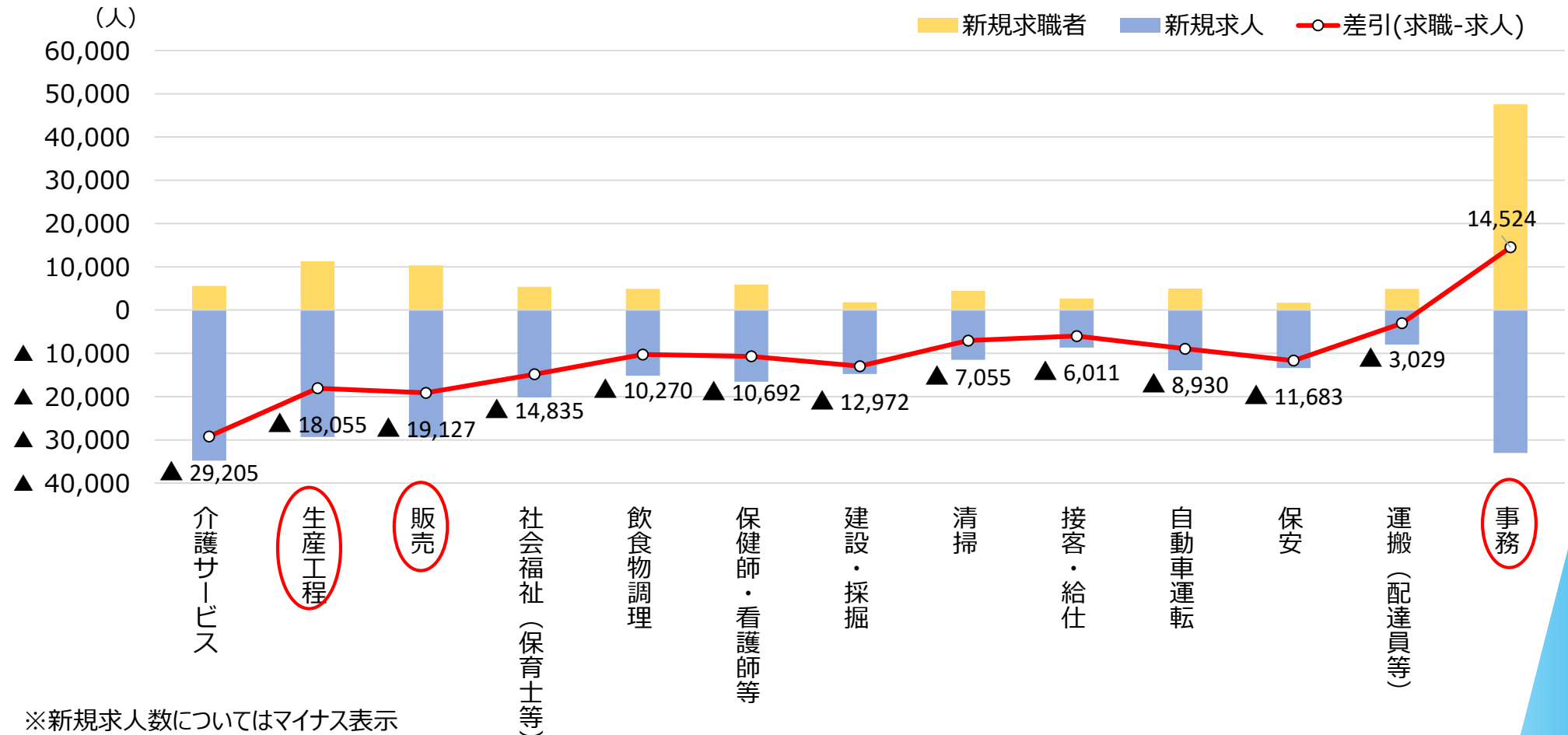
※DIとは、デフュージョン・インデックスの略。ここでは雇用人員判断の方向を示す指標であり、具体的には、雇用人員が「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を差し引いた数値

## (6) 雇用

### ④ 新規求人、新規求職数

職業別に見ると、生産工程や販売など多くの職種で求人超過である一方、希望者の多い事務職は求職が超過しているなど、ミスマッチが生じている。

#### 【職業別新規求人数、新規求職数（R5年度）】



(資料：兵庫労働局「労働市場月報ひょうご」)

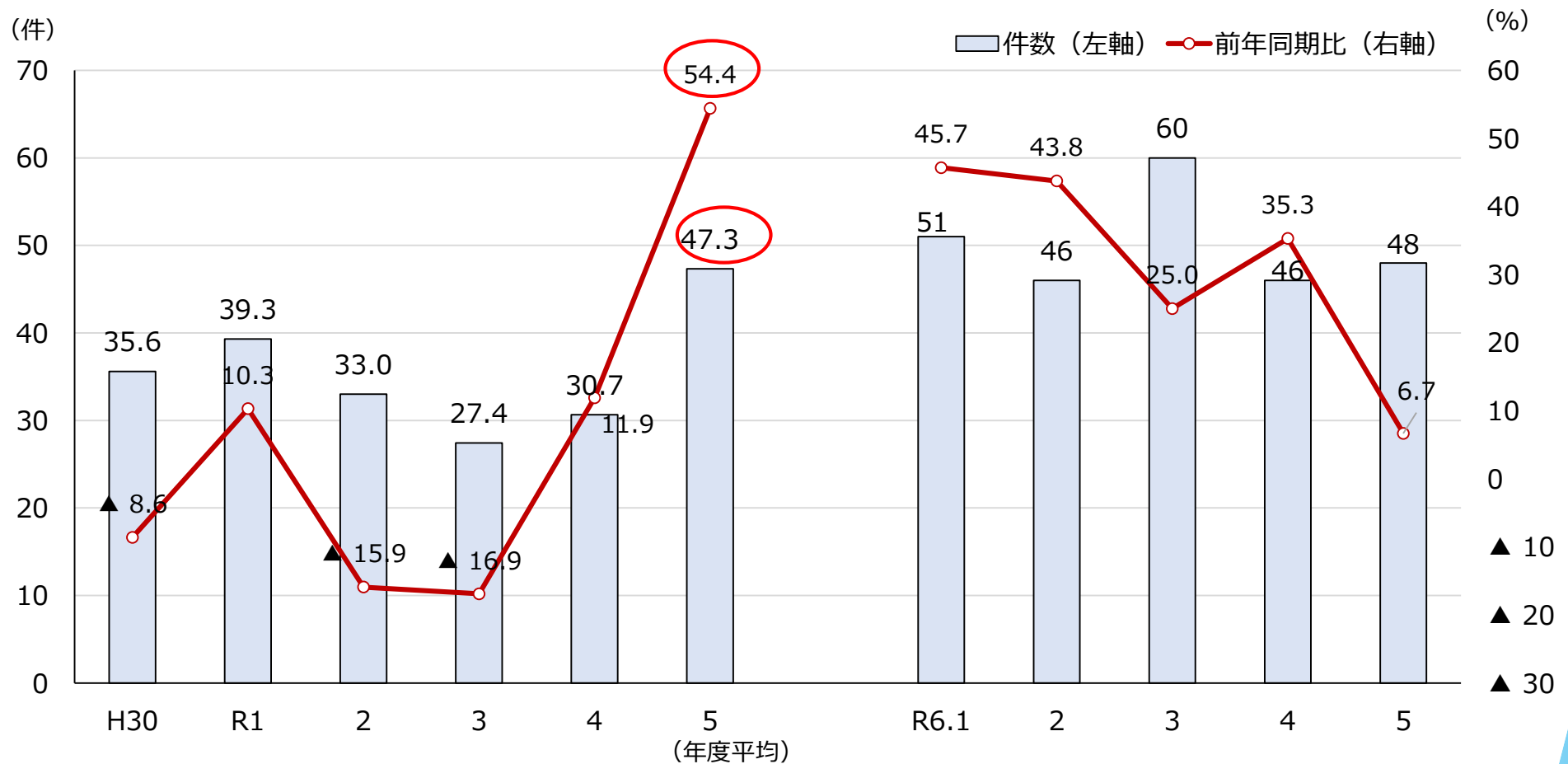


## (7) 金融

### ① 倒産

令和5年度の企業倒産は568件（月平均47.3件）と前年度比54.4%増となった。足もとでも同月比プラスで推移している。

#### 【企業倒産件数】



(資料：(株)東京商工リサーチ神戸支店「兵庫県企業倒産状況」)

## III 「ひょうご経済・雇用戦略（2023～2027年度）」の推進

### 1. 戦略の概要

#### （1）戦略の意義と目的

- ① 兵庫経済が、SDGs理念の普及、人口減少や少子高齢化、デジタル化、経済のグリーン化等の時代潮流の変化に対応しながら、兵庫の産業活性化と県民生活の豊かさの創出に向けて着実に進んでいくことを目的とする。
- ② 産業・雇用分野での県政運営の基本的考え方及び施策方向を示し、国、市町等と連携して推進
- ③ 有識者で構成される「ひょうご経済・雇用戦略策定会議」での意見を踏まえて策定
- ④ 県民、企業・事業者、大学・研究機関、地域金融機関、産業雇用団体・支援機関、国・県・市町が協働して推進を図っていくための共有シナリオ

#### （2）戦略の位置づけ

- ① 「ひょうごビジョン2050」で示す社会を作るための、産業・雇用分野における中長期的な取組方針



- ② 本戦略のうち中小企業の振興に関する部分を、中小企業振興条例（※1）第9条第1項に規定する「中小企業の振興に関する計画」と位置づけ

※1 中小企業振興施策を総合的に推進するとともに、地域創生を実効あるものとし、地域経済の発展、雇用促進及び県民生活の向上を図る条例。9月議会において実施状況報告を行う

# 1. 戦略の概要

## (3) 戦略の推進体制

- ① 参画と協働のもと、各主体と認識を共有
- ② 有識者で構成する「ひょうご経済・雇用戦略推進会議」等を通じて戦略を推進

## (4) 戦略の実行・評価・改善

- ① 戦略ごとに重要目標達成指標（KGI）、それを達成するための中間目標（KPI）を設定
- ② 指標をもとにした定期的な進捗管理により、戦略の実効性を高める

## (5) 戦略全体の基調と3つの方向性

### ① 基本戦略：持続可能な地域経済の確立と雇用の創出・安定

コロナ禍によって浮き彫りとなった社会課題に対応し、人口減少社会においても豊かな生活を維持するため、自立した地域経済の仕組みづくりと雇用の創出及び安定に、計画的に取り組む

### ② 戦略全体の基調：SDGsの推進

SDGsの理念のもと、県民や企業・事業者等とともに、持続可能性と収益性を両立した地域経済の確立と多様な人材が活躍する安定的な雇用に向けた取組を推進

### ③ 基本戦略実現のための3つの方向性

#### **方向性1 兵庫を牽引する新たな産業の創出**

社会課題の解決に挑戦する企業の創出や、先端科学技術などが支える次世代・成長産業を育成

#### **方向性2 中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展**

持続可能性と収益性を両立した循環経済を実現する中小企業の経営基盤強化

#### **方向性3 地域経済を支える人材の育成・確保**

持続的成長の源泉となる人材への投資促進、多様な人材が働きやすい環境の整備

## 2. 9つの重点プロジェクトと施策展開

持続可能な地域経済の確立と雇用の創出・安定を目指す3つの方向性を推進するため、9つの重点プロジェクトを設定し、施策を展開する。

### 【戦略の全体像】

### 持続可能な地域経済の確立と雇用の創出・安定

### SDGsの推進



#### 【方向性1】

#### 兵庫を牽引する新たな産業の創出

社会課題の解決に挑戦する企業の創出、先端科学技術などが支える次世代・成長産業の育成

- ① 成長産業の育成
- ② スタートアップエコシステムの形成
- ③ 科学技術基盤を活用した技術革新支援

#### 【方向性2】

#### 中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

持続可能性と収益性を両立した循環経済を実現する中小企業の経営基盤強化

- ④ DX等による生産性の向上
- ⑤ 経営の持続性向上
- ⑥ 地場産業の競争力強化

#### 【方向性3】

#### 地域経済を支える人材の育成・確保

持続的成長の源泉となる人材への投資促進、多様な人材が働きやすい環境の整備

- ⑦ 人への投資の推進
- ⑧ 多様な人材の確保
- ⑨ 誰もが生き生きと働ける環境づくり

## 兵庫を牽引する新たな産業の創出

## 重点プロジェクト 1 成長産業の育成

## (1) 成長産業の競争力強化

【成長産業 5 分野】 ◆水素等新エネルギー（蓄電池含む）、環境 ◆航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ  
◆ロボット産業 ◆健康医療産業 ◆半導体産業

- ① 県内製造業の成長産業への参入促進と競争力強化（成長産業全般）
- ② 県内企業の水素社会への気運醸成（水素等新エネルギー（蓄電池含む）、環境）
- ③ ドローンの社会実装促進（航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ）
- ④ 空飛ぶクルマの離着陸場の整備（航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ）

## (2) 産業立地条例による戦略的な投資促進

- ① 産業立地条例により成長産業の誘致を促進
- ② ベイエリアへの投資の促進

## 重点プロジェクト 2 スタートアップエコシステム（※2）の形成

〔※2 公的機関や研究機関などがネットワークを作ることでスタートアップ（新たなアイデアで市場を開拓し、短期間で急成長する企業）を支援しながら発展するシステム〕

## (1) スタートアップ支援拠点の強化

- ① 支援者の育成や拠点間の連携も含めたスタートアップ支援拠点の充実強化
- ② コワーキングスペースの拡充による企業間交流の促進
- ③ 国内外のスタートアップ支援を行うグローバル拠点を構築

## (2) オープンイノベーションの推進

- ① 既存企業とスタートアップのマッチングによるオープンイノベーション（※3）の推進
- 〔※3 異業種、異分野が持つ技術やサービスなどを組み合わせ、革新的な製品やサービス開発等につなげる技術革新の方法〕

## 兵庫を牽引する新たな産業の創出

**重点プロジェクト 2 スタートアップエコシステムの形成****(3) 起業家の再チャレンジを支援**

- ① 再チャレンジを目指す起業家に対する活動支援を展開

**(4) 若者や女性の起業支援**

- ① 「スタートアップチャレンジ甲子園」など、若者の起業家精神を醸成する事業等を展開
- ② 新たなビジネス創出に意欲的に取り組む若者や女性を支援

**(5) スタートアップによる地域課題解決の支援**

- ① スタートアップと地域課題解決をマッチングする「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」の推進
- ② 地域住民による地域課題解決を支援

**重点プロジェクト 3 科学技術基盤を活用した技術革新支援****(1) 科学技術基盤の産業利用推進**

- ① SPring-8、SACLA（※4）、スーパーコンピュータ「富岳」の産業利用を推進
- ② 次世代電池、半導体の技術開発促進

**(2) 先端技術人材の集積と育成支援**

- ① 県内産業の高度化に資する学術研究への助成
- ② 先端技術人材の育成や県内集積を促進

※4 太陽の100億倍の明るさであるSPring-8の光より、10億倍明るい「X線自由電子レーザー」により、物質の動きや変化の仕組みを原子レベルで解明する世界最高性能の施設



## 中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

### 重点プロジェクト 4 DX等による生産性の向上

#### (1) 中小企業のDX導入促進

- ① 県内企業のDX（※5）推進に係る意識啓発や知識補完
- ② 製造現場でのAI・IoT・ロボットの普及

#### (2) 中小企業の人材育成支援

- ① 県内企業や求職者に対するリスキング（※6）の支援
- ② 県内企業が取り組むデジタル推進人材育成の支援

※5 データやデジタル技術を活用し、ニーズを基に、製品・サービスやビジネスモデルを変革するとともに、業務・組織・プロセスや企業文化・風土を変革すること

※6 DXなど大きな社会の変革によって生まれる新しい仕事に労働者が円滑に移行できるよう、スキルや知識を身に付けさせること

### 重点プロジェクト 5 経営の持続性向上

#### (1) SDGsの推進

- ① 県内企業のSDGsへの取組の重要性を周知
- ② SDGsへの取組の認証制度等により県内企業の取組を支援

#### (2) 新事業展開の支援と事業承継の推進

- ① 関係機関と連携した円滑な事業承継、M&A（※7）の推進
- ② 若手後継者の事業承継や新事業創出を支援

※7 企業の合併・買収を指す。近年、企業の規模拡大・事業多角化手段や、事業承継の選択肢などとして、中小企業にとっても身近な存在になりつつある

#### (3) 金融機関と連携した経営改善支援

- ① 金融機関や信用保証協会と連携した中小企業等の資金繰りの円滑化、経営改善の伴走型支援を展開

## 中小企業の経営基盤の強化・持続的な発展

## 重点プロジェクト 5 経営の持続性向上

## (4) ものづくり産業の競争力強化

- ① ものづくり産業の技術革新を促進
- ② ものづくり産業への女子学生の就業促進
- ③ ものづくり産業の理工系人材の獲得支援

## (5) 海外展開支援と外国・外資系企業誘致

- ① 県内企業の国際的な事業展開を支援
- ② 外国・外資系企業立地を促進
- ③ アジア諸国との経済交流の促進

## (6) 危機管理への対応と事業継続支援

- ① サイバー攻撃等の様々な危機にも対応したBCP（緊急事態下での企業等の事業継続計画）策定支援を展開
- ② コスト上昇局面において、県内企業が価格転嫁しやすい環境を整備

## (7) 商店街の集客力強化

- ① 商店街への魅力的な店舗誘致や個店の魅力強化を支援
- ② 新たな顧客層が訪れる仕組みづくりを支援

## (8) 魅力ある県内企業の顕彰

- ① 魅力的な県内企業の顕彰を推進

## 重点プロジェクト 6 地場産業の競争力強化

## (1) 地場産業のブランド価値向上と販路拡大

- ① SDGsの視点を取り入れた新製品開発や販路拡大、海外展開の支援
- ② 2025大阪・関西万博でのフィールドパビリオンと連携したブランド価値と認知度の向上



## 地域経済を支える人材の育成・確保

## 重点プロジェクト 7 人への投資の推進

## (1) 中小企業の人材育成支援 (再掲)

- ① 県内企業や求職者に対するリスキリングの支援
- ② 県内企業が取り組むデジタル推進人材育成の支援

## 重点プロジェクト 8 多様な人材の確保

## (1) ダイバーシティ&amp;インクルージョン (※8) の推進

- ① 女性と県内企業のマッチングや女性活躍推進企業 (ミモザ企業) の認定を促進
- ② 外国人留学生と県内企業のマッチング促進
- ③ 高齢者の就労ニーズに合わせたマッチング支援
- ④ 県内企業の障害者雇用に関する理解促進

〔 ※8 性別・世代・障がい有無・国籍など違いを持つ多様な人材がお互いを認め、一体感をもって組織運営が行われる状態。 〕

## (2) 大学生と県内企業のマッチング促進

- ① 県内大学生と県内企業の早期マッチングを推進
- ② ものづくり産業の理工系人材の獲得支援 (再掲)
- ③ ものづくり産業への女子学生の就業促進 (再掲)

## (3) 若年層をターゲットとしたUJIターンの促進

- ① 全国の大学と連携した県外大学生のUJIターンの促進
- ② ものづくり産業の理工系人材の獲得支援 (再掲)
- ③ ものづくり産業への女子学生の就業促進 (再掲)
- ④ 新たなビジネス創出に意欲的に取り組む若者や女性を支援 (再掲)

## 地域経済を支える人材の育成・確保

**重点プロジェクト 9 誰もが生き生きと働ける環境づくり****(1) 誰もが働きやすい労働環境の整備**

- ① 県内企業が取り組む女性、外国人、高齢者、障害者が働きやすい職場づくりへの支援

**(2) 新しい働き方の推進とワーク・ライフ・バランスの実現**

- ① テレワーク、ワーケーションなどによる取組支援の充実・強化
- ② ワーク・ライフ・バランス取組企業の量的拡大と質的向上

## 3. 戦略の推進状況（R5年度の取組）

### （1）メインテーマ「人手不足問題対策」の設定

- ① 生産年齢人口が減少する中、コロナからの回復で、特に製造や観光の現場で人手不足が深刻化
- ② 2025大阪・関西万博や神戸空港国際化の活力を取り込み、兵庫をさらなる成長軌道に乗せ、持続可能な地域経済を確立するためにも、人手不足問題対策は喫緊の課題

### （2）分科会による検討

- ① 「ひょうご経済・雇用戦略推進会議」のもとに、雇用分科会・経済分科会を設置
- ② 社会経済情勢や現場の課題に即した施策提案に結びつく、踏み込んだ議論を行う

雇用分科会	経済分科会
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 雇用の創出・安定に向けた新規施策等を議論</li> <li>➤ <b>「人手不足問題対策会議」として位置づけ</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 持続可能な地域経済の確立にむけた新規施策等を議論</li> </ul>

### （3）開催経過

会議	7月	8月	9月	10月	12月	2月
戦略推進会議	第1回 設置					第2回 総括
雇用分科会	第1回 課題整理①	第2回 課題整理②		第3回 施策案検討	第4回 議論総括	
経済分科会		第1回 課題整理	第2回 議論総括			

## 3. 戦略の推進状況（R5年度の取組）

### （4）検討結果と施策化事例

#### 雇用分科会

##### <施策の方針>

- 特に、「**就業促進・多様な人材活躍**」「**生産性向上**」「**働きやすい職場づくり**」の視点から、現状や課題をふまえ、施策を強化・拡充

##### <施策化事例>

- ✓ 高校生の県内就職の促進（高校生や進路指導担当教員向けの取組の充実）
- ✓ 理工系人材獲得の促進（学生が県内の製造・研究現場を知る機会の創出）
- ✓ デジタル技術を活用した多様な労働力の発掘支援（短期・短時間勤務希望者と企業のマッチングを支援）
- ✓ 外国人材就職・定着支援（外国人雇用に関する企業認証制度の創設検討）
- ✓ ものづくり支援センターによる生産性向上支援（現場改善等の小さなDXも含めた支援体制の構築）
- ✓ 奨学金返済支援制度の拡充（40歳未満まで、最大17年間の補助期間に拡充）

#### 経済分科会

##### <議論総括>

- 特に、「**成長産業の育成、起業支援**」「**DX等による生産性の向上**」「**地場産業の競争力強化**」の視点から、現状や課題をふまえ、施策を強化・拡充

##### <施策化事例>

- ✓ 水素関連技術・製品の普及支援（海外展示会への出展等支援）
- ✓ ものづくり支援センターによる生産性向上支援（現場改善等の小さなDXも含めた支援体制の構築）
- ✓ 地場産業の魅力発信（万博に向け、海外販路拡大を目指すブランディングの取組を支援）

（再掲）



兵庫県